

魔法のダイアリー 仙台セミナー

先生、 私の苦勞に気付いてますか？

～読み書きの苦手さをICTで補う
・小学校から中学校連携について～



川崎市総合教育センター
特別支援教育センター
盛光 秀之

川崎市

2017年4月

人口150万人突破



小学校113校
中学校52校
高等学校 5校
特別支援学校 4校



川崎市総合教育センター 塚越相談室

児童・生徒の教育に関する相談を受けています

説明の流れ

- 本人の困り感とアセスメント
- ねらいと取組（小学校 6 年生）
- 中学校との連携
- ねらいと取組（中学校 1 年生）
- 今後の課題とそれに向けての予定

①本人の困り感とアセスメント



母親が相談室へ相談を申し込む

●主訴

本人は努力しているが、中々学習が定着しない。

- ・ 病院、療育センター、児童相談所など様々な機関で相談したが本人の困り感は解消できなかった。
- ・ 4年生から学校が楽しくないと言い出し、早退が増えた。
- ・ 年を重ねるごとに学習と向き合おうとしなくなっている。
- ・ このまま中学校に入るとどうなるのか心配。

対象児童の状況（本人から）

●困っていることは？

- 漢字が覚えられない。読めないし書けない。
- 明日の漢字テストなら50点くらいは取れるけどすぐに忘れてしまう。
- 板書すると疲れてしまう。

●願い

- 漢字を書けるようになりたい。

対象児童の状況（担任から）

- 友人関係は良好である。
- 学習面以外は特に問題はない。
- 真面目で素直である。
- 取り出し指導をしているがどんな指導が効果的かわからなくて困っている。
- 学習状況調査は10分もするとあきらめていた。

対象児童の状況（相談室での様子）

- 片仮名は読めていなかった。
- 漢字が入る文章もたどたどしい読み。
- 図形認識が苦手な様子あり。

担当心理士より「会話の疎通が良く知っている知識も多かった。検査結果より認知能力はもう少し高いような印象を受けた。」

対象児童のアセスメントまとめ

	困難さ	良さ・強み
性格・行動	予定・持ち物管理	真面目・素直
読み・書き	読み・書き	練習によって 漢字は一定期間保持
計算・推論	文章問題	計算は得意
思考・記憶	思考の転導性あり	音声での記憶は良い

真面目で素直な女子児童
問題行動はなく、対人関係良好
学習は訓練すればできると教えら
れ反復練習を続ける
でも・・・

②ねらいと取組
(小学校6年生)



ねらい

- **読み書きのアセスメントを取り、ICTを利用した本人に適した学習方法を提案することによって「できる」「わかる」体験を積み重ね学習意欲を取り戻す。**

認知特性に応じたiPadアプリのフィッティングを行う。

認知特性に応じたICT機器の導入により、適切な合理的配慮を受ける。

自己肯定感を高め学習意欲を取り戻す。

進級に向けて中学校のコーディネーターとの引継ぎを行う。

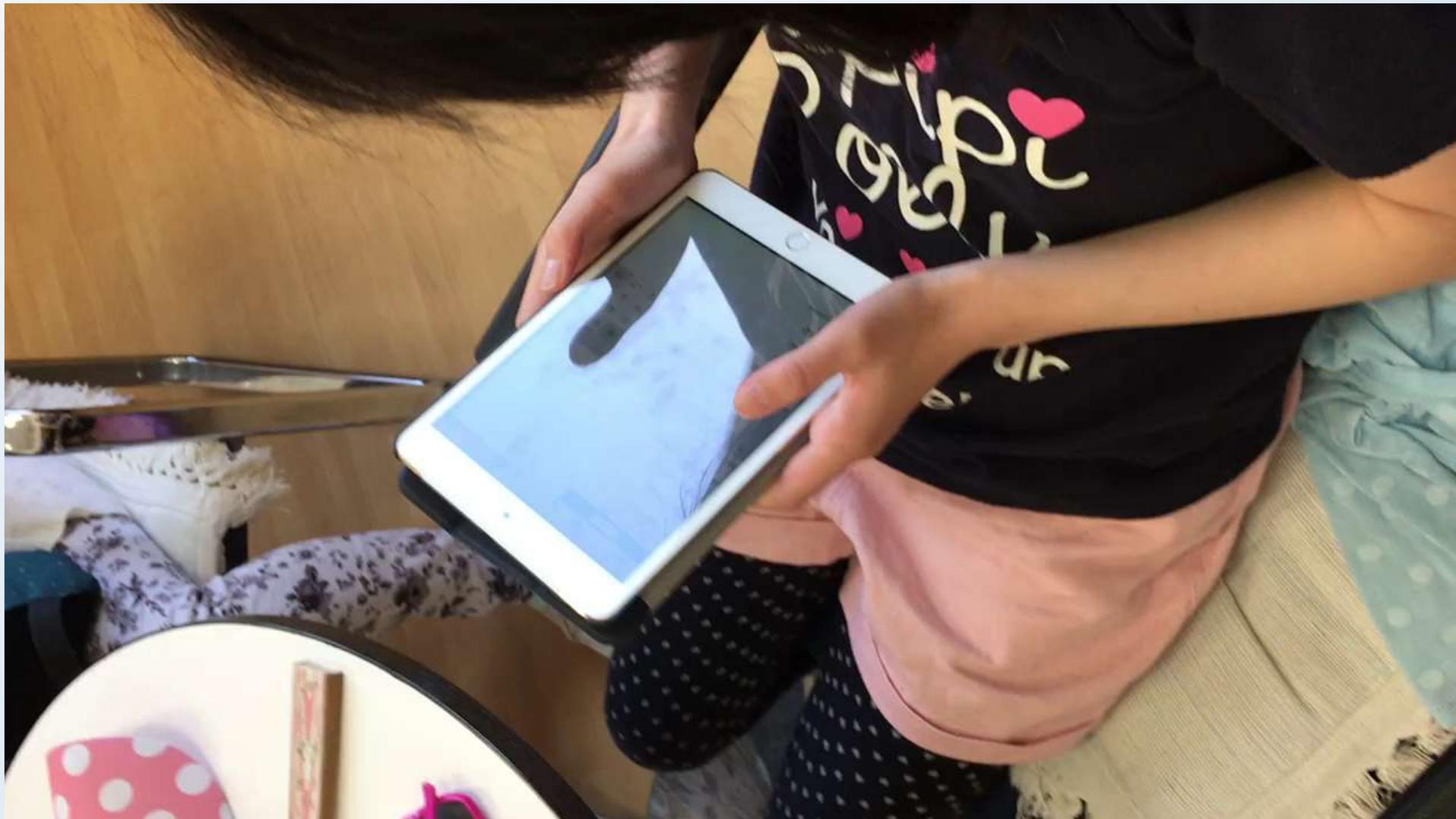
確認の方法を身に付ける (使用したアプリ：例解国語辞典、筆順辞典)



活動の具体的内容

確認の方法として、知らない熟語や言葉を調べること。知らない漢字を調べて大きく表示して正しく書くことができるようにした。

調べても読めない



音声読書で語彙を増やす (使用したアプリ：kindle、青空文庫)



活動の具体的内容

理解力は十分あると感じたので、まずは好きな本を選んで聞く活動を取り入れた。本人の希望で「竹取物語」「美女と野獣」を選択したので、いつでも聞けるように使用方法を確認した。

音声読み上げ練習中



音声教材や動画を使って教科の内容理解を深めるために
(使用したアプリ：いーリーダー、NHK for School)
(使用した教材：学研のやさしくまるごとシリーズ)



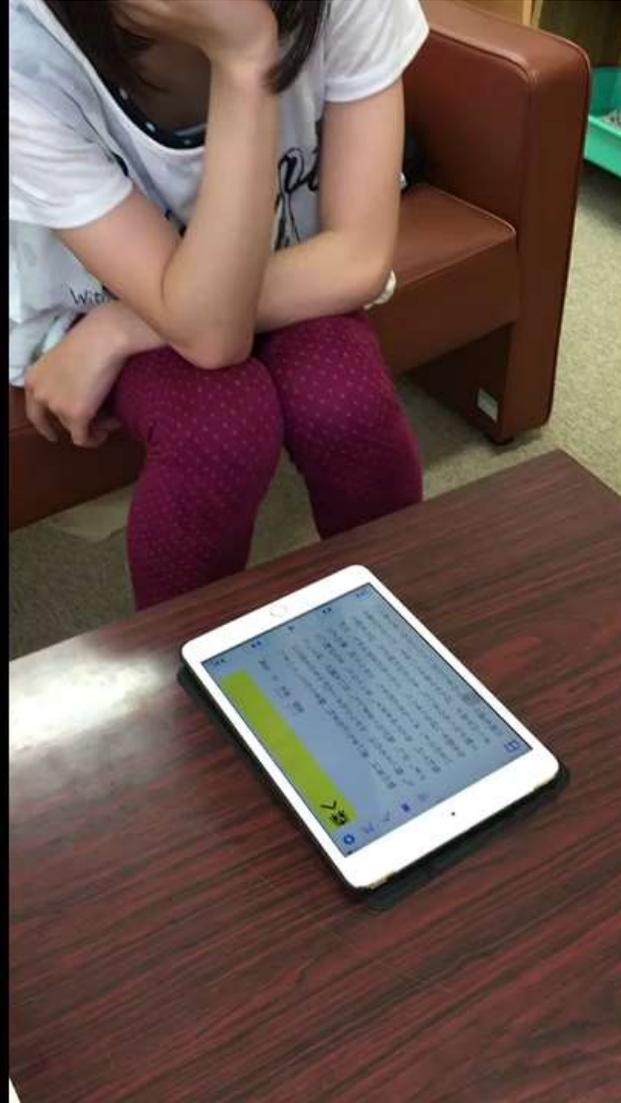
活動の具体的内容

いーリーダー：教科書の内容を音声で確認することで、内容の理解を進める。

NHK for School：理科や社会の予習復習

まるごとやさしく小学理科：理科をもっと得意にしたいという本人の希望から、休みがちだった4年生の内容から遡って学習を進めた。

たどたどしい読み



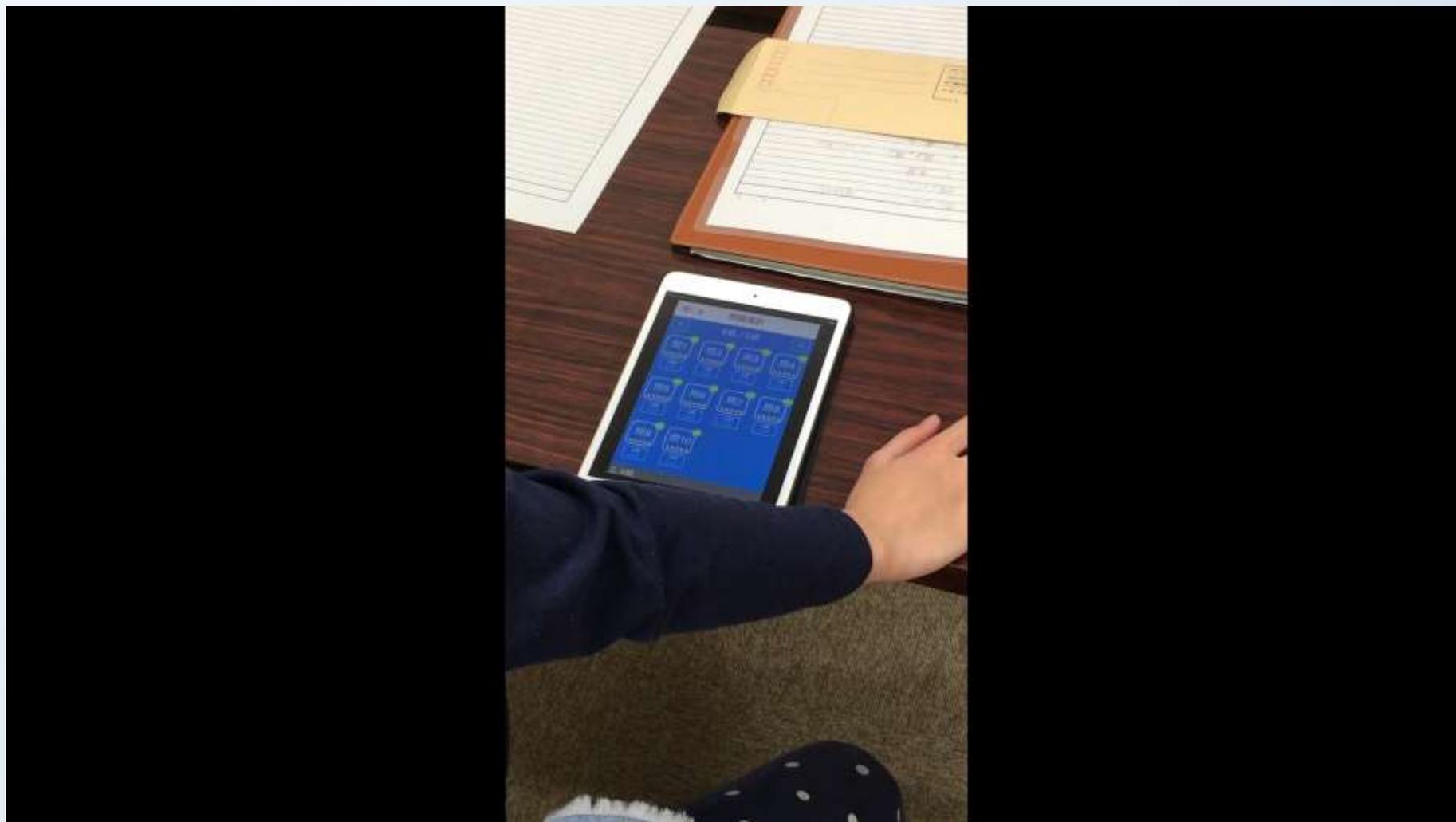
選択式で読める漢字を増やす (使用したアプリ：漢字検定 よみがな特訓 小学漢字 よみかたクイズ)



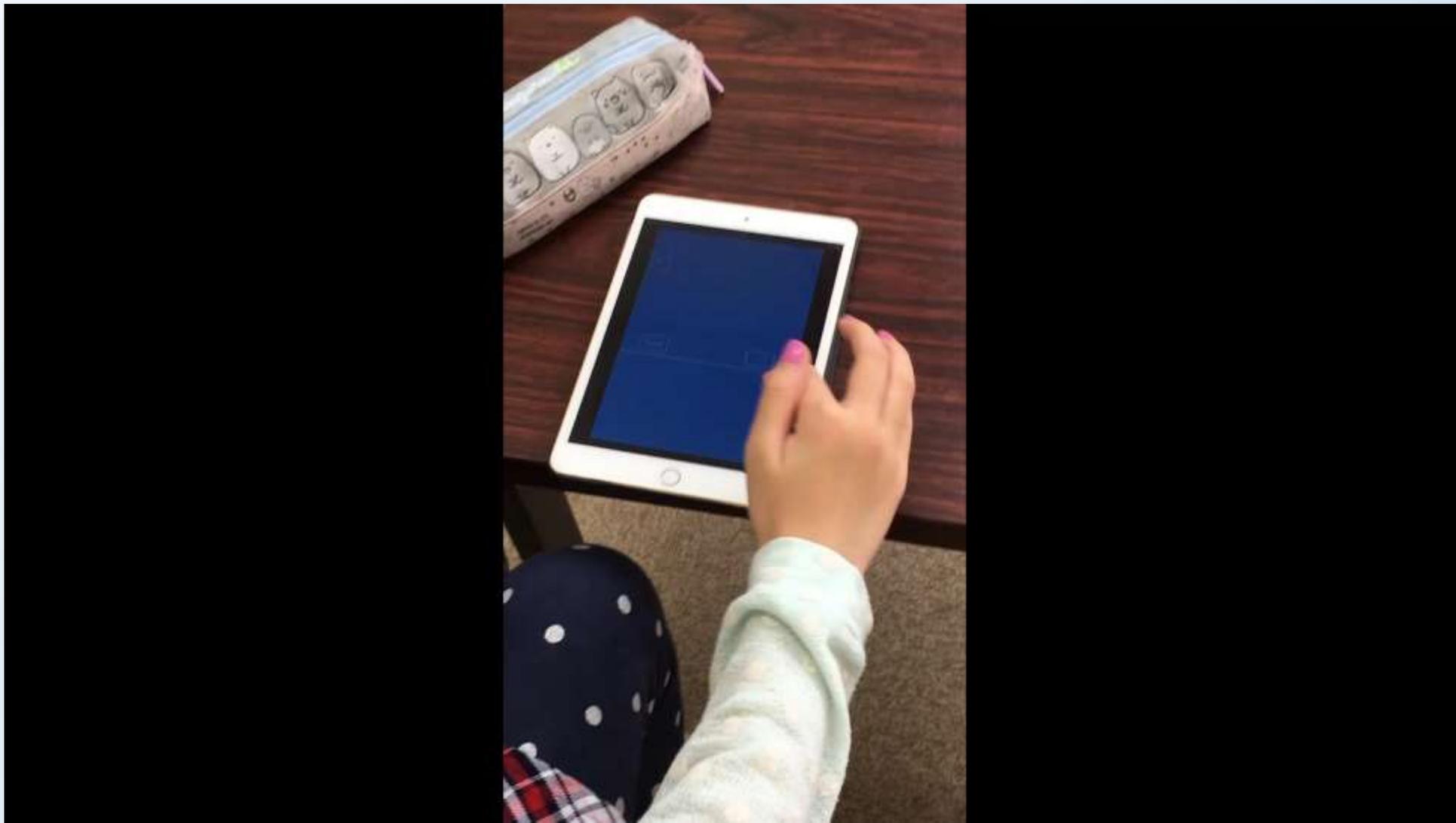
活動の具体的内容

漢字の書きについては、他機関で取り組むとのことなので、こちらでは読みに重点を置いて指導することにした。いくつか試したところ本人が一番気に入ったこのアプリを使用した。

漢字の読み



根気よく練習



学校にお願いしたこと

音声支援が有効なので、可能な範囲でテストの読み上げをしてほしい。

書けるが内容理解が進まない恐れがあるので、聞くことに集中させて、ノートテイクは重要語句中心にしてほしい。

音声支援の結果

テストの結果は徐々に効果を上げ始める

ただし、国語以外

国語テストはどうやって答えているの？

国語は、ほとんど勘で解いている。

読んでもらえば、わかるかも。

でも、国語は読んでもらうのは気がひける。

テキストの音声読み上げ

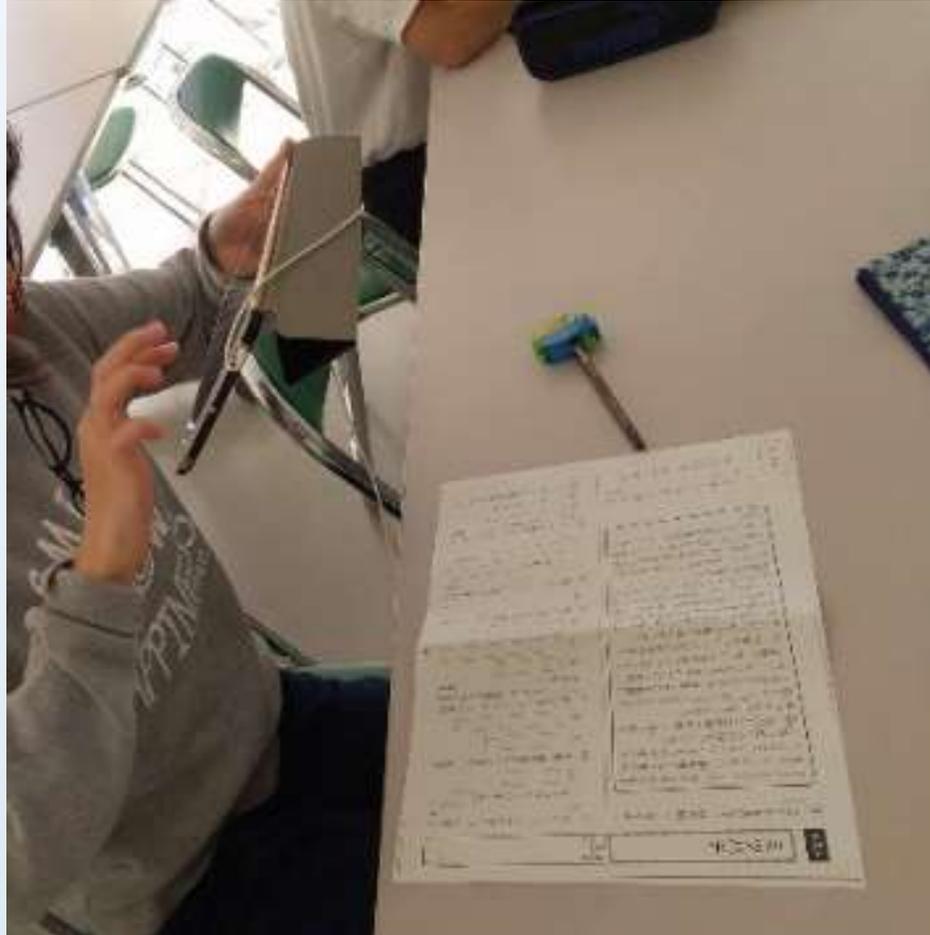
(使用したアプリ：office lens タッチ&リード)



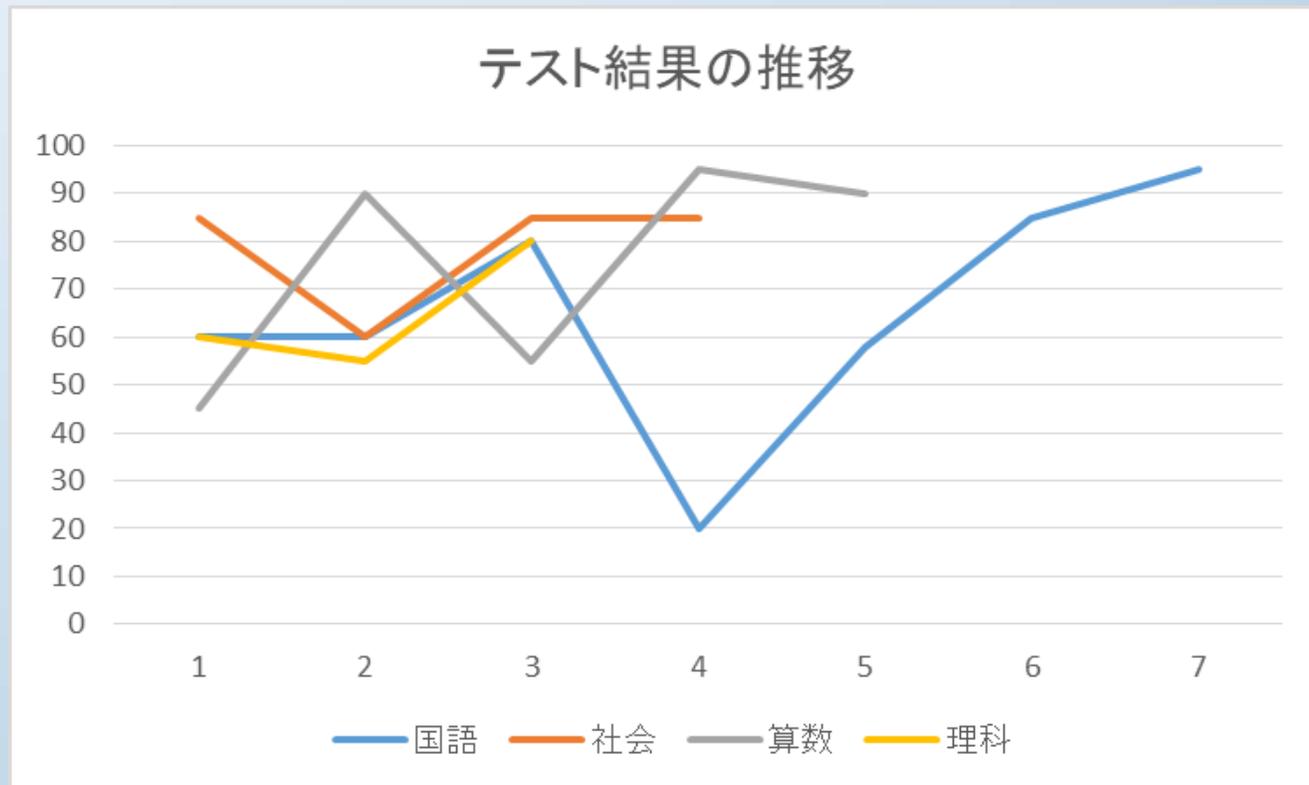
活動の具体的内容

対象児の読みの困難さから、紙媒体からのOCRでテキストに変換して、音声読み上げをするスキルは必須であると考えて。そのため今後テストを受けるときに使えるスキルとして練習をした。

そこで、別室でのiPadを利用したテストを試してもらったところ



8割を超える結果が iPadを利用した別室でのテスト



遠隔でサポート (使用したアプリ : by talk for school)



活動の具体的内容
本人と会えるのは月に1～2回で1回50分なので、基本は遠隔でやりとりをした。最近はお互いの趣味やテレビの話題で盛り上がっている。学校の学年便りなどを写真で送ってくれるので、授業の進度についても確認できた。

③中学校との連携



中学校との連携

2月 保護者との教育相談を実施

3月 コンサルテーション

3月 小学校からの引継ぎ

結果として

- 教室内でのICT機器利用の許可を得る
- 定期テストの別室受験
- 今後も定期的な連携を確認

④ねらいと取組 (中学校 1 年生)



ねらい

- 中学校への移行支援をして、教室内においてICT利用することで、対象生徒の学びを保障する。
- 対象生徒に合った学習方法を提案し、定期テストで7割を目指す。
- 対象生徒が自己理解を深め、充実した学校生活を送れるように心理的なサポートをする。

iPad利用に際しての説明

オーランドブルームを例に出し担任が利用目的を説明した

中学校生活に戸惑いも

- iPad使って良いことになったけど、いつ使えばいいの??
- 教科によってやり方が違うんだけど。
- 担任の先生は信頼できるけど・・・
- 周囲の目も気になる。

そして吹奏楽部へ入部

練習で忙しい毎日
母親と同じ吹奏楽部へ
テナーサクスを選択

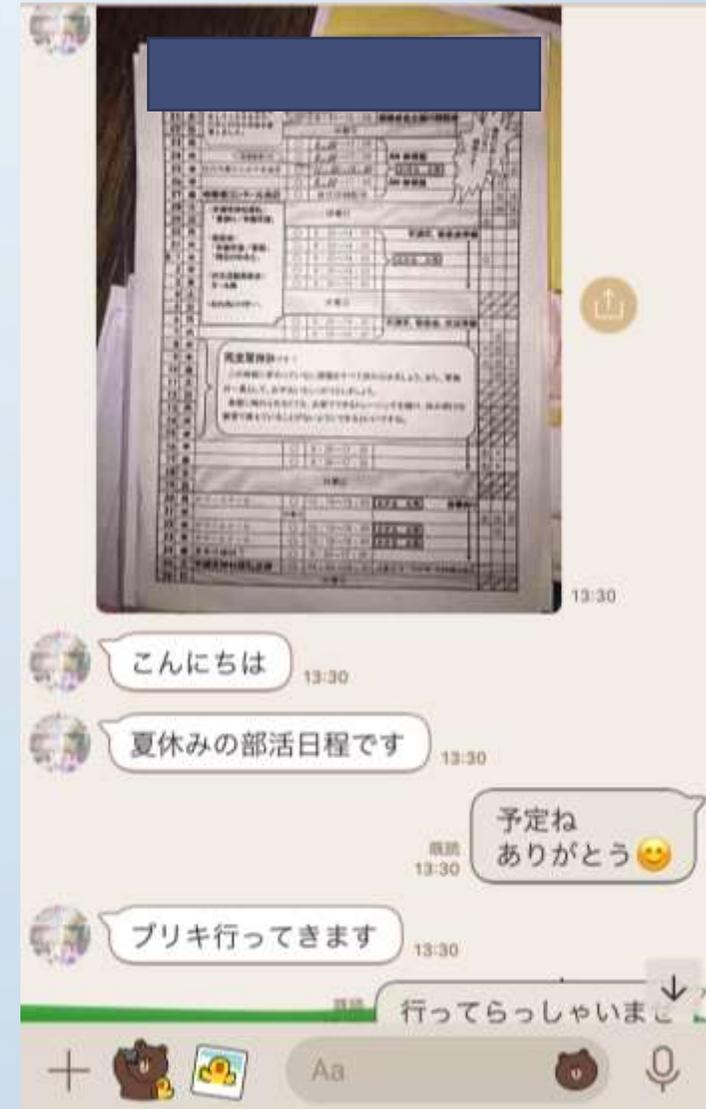
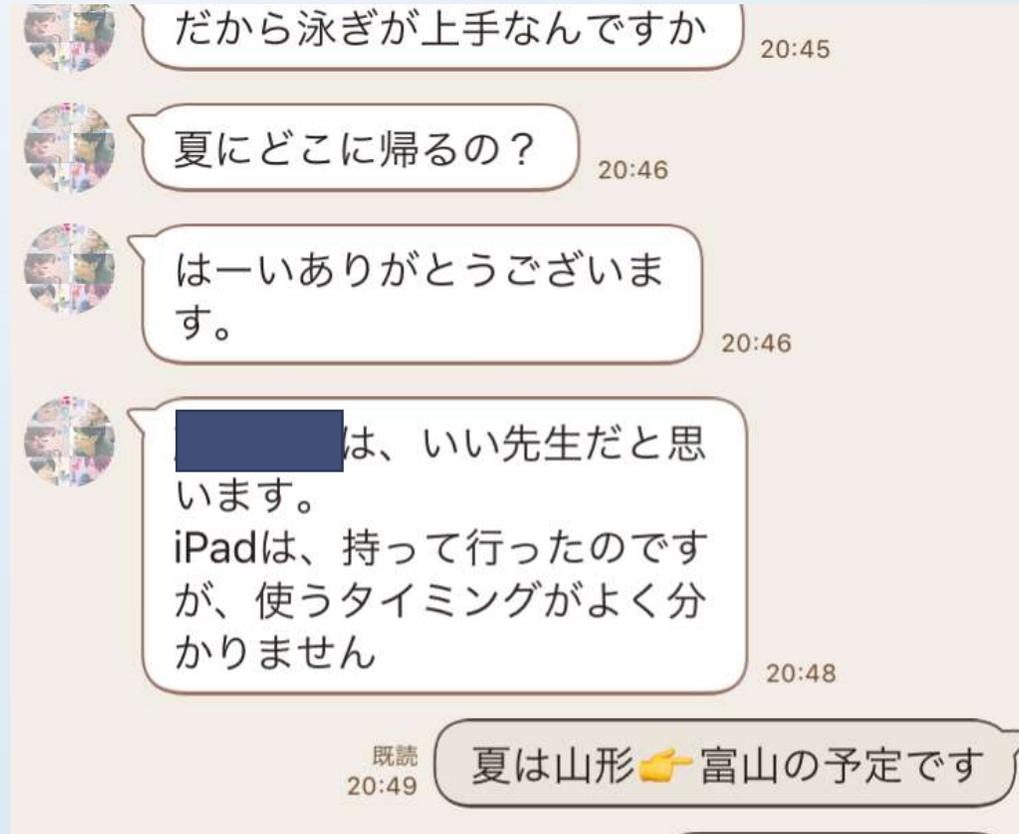
とにかく忙しい毎日で、四月から
担当が会えたのは2回だけ。



読みを支える支援として Office Lens から イマーシブリーダー



心理的ケアサポートと学習の確認 LINE



はじめての定期テスト

しかし・・・

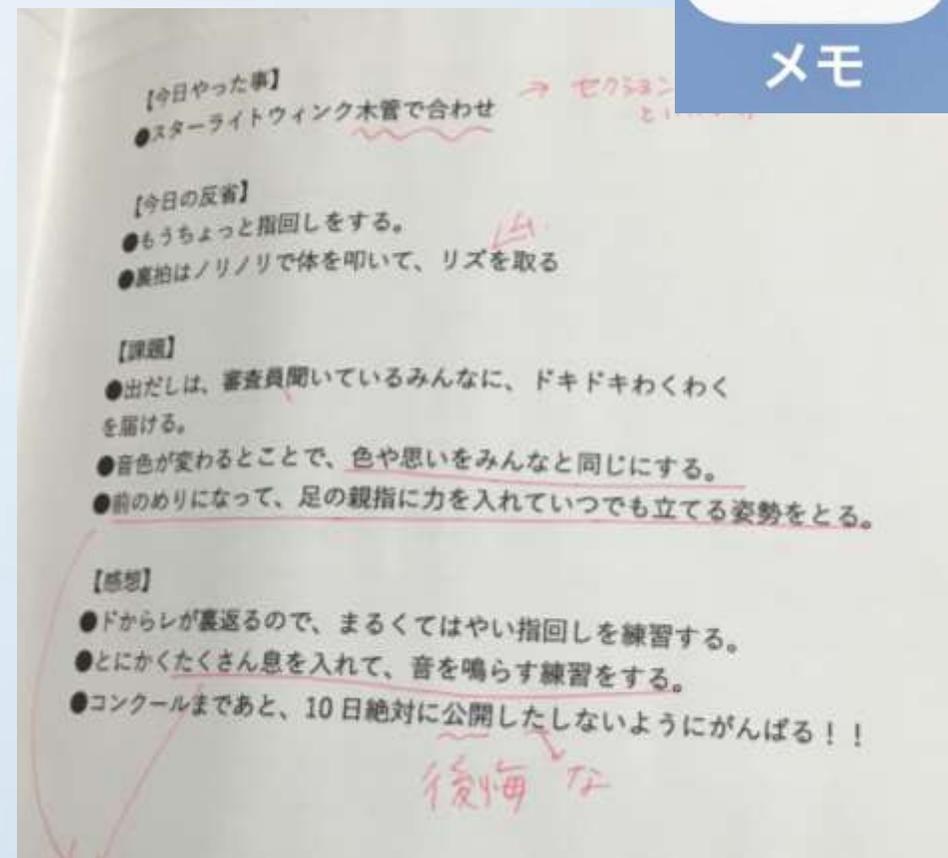
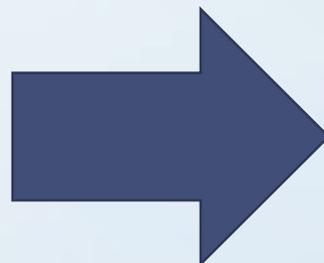
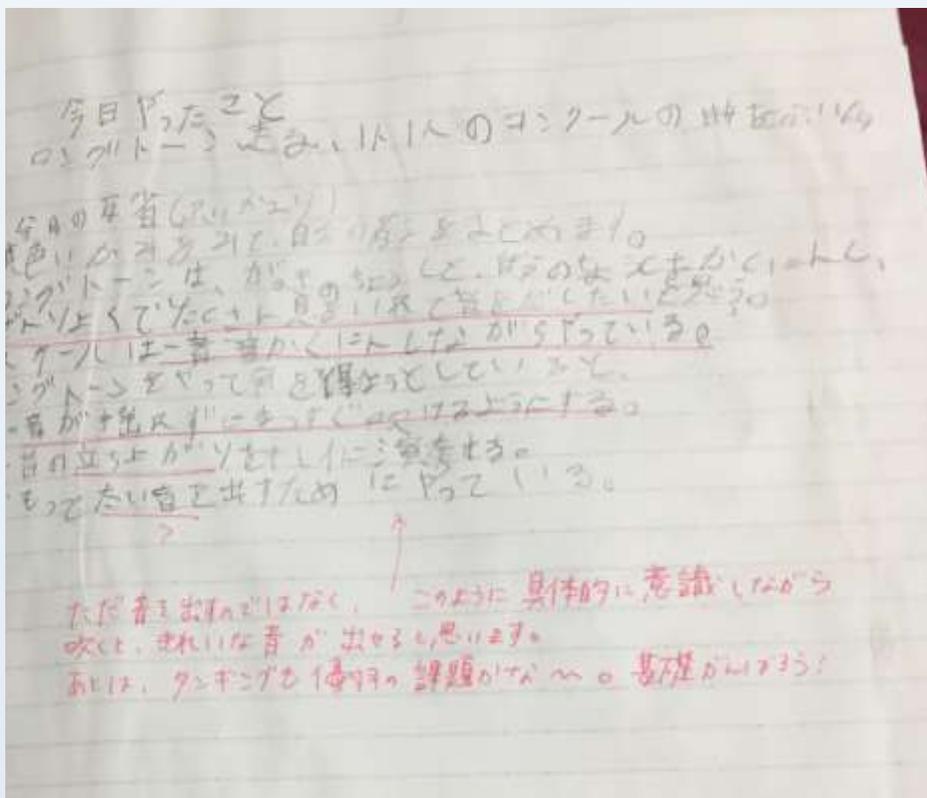
結果はほとんど5割以下

本人コメント

- 別室の先生が知らない先生で緊張
- 立って写していいのか迷った
- ルビ付きを渡された
- とにかく焦っていた
- 結局iPadは国語しか使用しなかった



そこで、積極的なICT利用を提案



部活ノートをiPad利用で

夏休みの宿題も



GoodNote4

ターボスキャン 9:24 91%

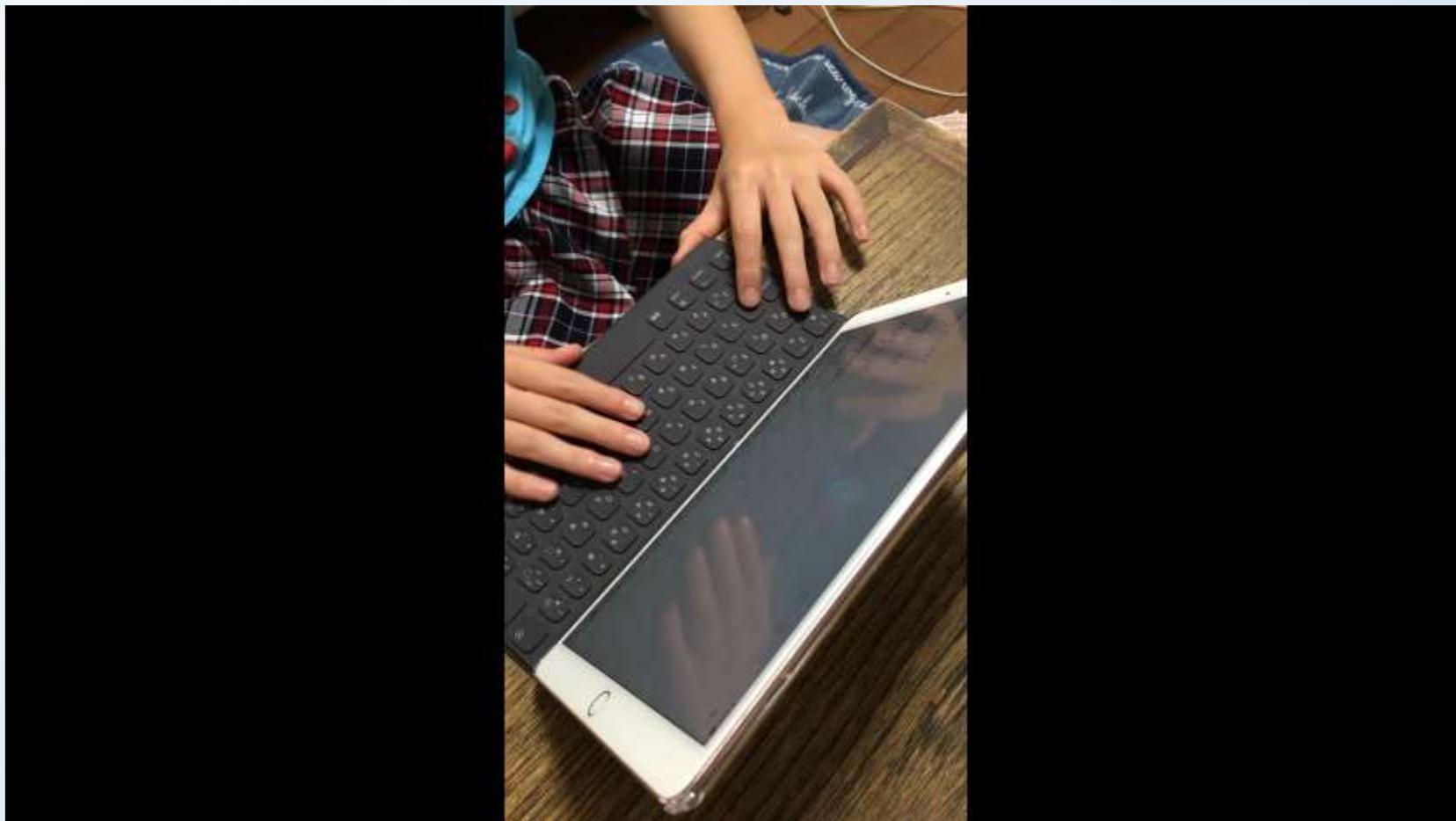
日付	1日の記録 (学習・生活(手伝い)・部活動・旅行等の時間)																			今日の一言 (1日のふりかえり)	充実度 (◎○△)
7.30 (月)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
31 (火)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
8-1 (水)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	部活	
2 (木)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
3 (金)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
4 (土)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
5 (日)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		

3週目を終えて

満足度
(A・B・C)

4週目に向けて

キーボードも上達しています



⑤今後の予定



今回の反省を生かして

- 中学校への情報提供と情報共有を図る
- ノートテイクの方法を試していく
- 学習の量に対応できる学習習慣の確立
- ワークシートのデータを提供してもらう
- 予定の管理をICTで